

令和4年9月

青森県議会第311回定例会

公益社団法人青森県観光連盟  
経営状況説明書

青 森 県



公益社団法人青森県観光連盟経営状況説明書を地方自治法  
第243条の3第2項の規定により提出する。

令和4年9月21日

青森県知事 三 村 申 吾



# 第1 令和4年度事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度は観光振興と青森県観光物産館管理運営のための事業を実施し、令和4年10月の公益財団法人青森県国際交流協会との合併後は、国際交流のための事業も実施するものである。

## 1 観光振興・青森県観光物産館管理運営事業

### (1) 開発推進事業

#### ① 観光開発推進事業

マーケティングデータを活用し、インバウンドや国内旅行者に対して、より魅力的な観光コンテンツを提供するため、関係自治体、観光団体、観光事業者等と協働で県内観光資源の発掘と磨き上げを行っていく。

併せて、インバウンド旅行者の満足度向上のため、県内観光事業者等のおもてなし力向上を図るためのコンサルティング事業を実施する。

ア 県内観光コンテンツ開発の推進

イ 旅行商品の創出・企画サポート

#### ② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行うほか、県内施設の魅力向上を図るための普及を行う。

#### ③ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を実施する。

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

イ 教育旅行促進強化事業

#### ④ コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開する。

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

イ あおもりMICE誘致活動事業

ウ 大規模MICE開催費助成事業

エ ニューノーマル時代の青森型MICEプロモーション事業

## (2) 情報発信事業

関係機関と連携した県内外イベントへの参画やガイドブックの作成等のPRを行うほか、IT技術等を活用しながらターゲットに合わせた効果的かつ効率的なプロモーション活動を通じた情報発信を展開する。

### ① 観光キャンペーン推進事業

北海道新幹線開業や東北デスティネーションキャンペーンの効果を持続させ、本県を中心とした周遊観光を促進するため、JR東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等と連携し、観光ガイドブックの配布や、首都圏等における各種観光等イベントへの参画を通じて本県観光資源の魅力を全国にPRし、一層の誘客促進を図る。

ア 観光イベントガイドブックの作成

イ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

ウ 広告宣伝の展開等

エ 観光イベント等への参画

オ 青森県観光セミナーの開催

カ 旅行商品造成対策

### ② 県外における誘客促進プロモーション事業

九州圏からの誘客を促進するため、博多どんたく港まつりステージ等に参画し、観光資源及び周遊観光の魅力をPRする。

### ③ 観光情報ネットワークシステム運営事業

旅行者が本県観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイトの運営・管理を行う。

### ④ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図る。

### ⑤ 青森県・道南観光キャンペーン推進事業

令和4年7月から9月にJR東日本の重点販売地域指定を受け実施する、「北東北三県大型キャンペーン」に併せ、青森県・道南の魅力発信及び誘客を促進するため、青森県及び道南地域の自治体及び関係団体と連携し、JR主要駅等における観光PR及び来訪歓迎を示すツール制作等を行う。

(3) インバウンド対策事業

台湾・中国・韓国・香港を中心とした東アジアからの誘致活動を展開するほか、受入意識・サービス向上など受入対応力を強化していくことにより、来訪者の満足度向上及び観光消費の拡大に努める。

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された国内外の観光客に対し、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を運営する。

- ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内
- イ チャット機能による多言語観光案内
- ウ SNSを活用した多言語による情報発信
- エ 多言語による観光PRパネル展示
- オ 県内周遊旅行商品の販売等

② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催する。

③ 韓国誘客対策強化事業

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施する。

- ア 韓国旅行商品造成手配会社の招請
- イ 新規旅行商品等造成広告支援
- ウ FITエージェント及び大韓航空との共同プロモーション
- エ インセンティブツアー実施団体の招請
- オ インセンティブ商談会への出展PR

④ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画する。

⑤ 韓国現地商談会実施等事業

韓国との経済交流を促進するため、物産商談会への出展PRやバイヤーの招請により、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図る。

- ア 物産商談会への出展PR
- イ 韓国食品関連バイヤーの招請
- ウ 北東北三県・北海道ソウル事務所と連携した、県内企業のビジネス開拓支援

⑥ 台湾人観光客誘致拡大事業

国際定期便や県外空港を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施するとともに、現地で行われる観光イベントに参加し、情報発信を行う。

ア 台湾でのプロモーション活動

イ 台湾での観光博出展に係る調整

⑦ 青森・台北線利用促進事業

青森空港発着の国際定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携し誘客宣伝事業等を実施する。

(4) 受入体制整備事業

① マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果を得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取組を継続する等、体系的なマーケティング活動を強化していく。

② 「もてなしの心」運動推進事業

本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図る。

ア 観光ガイド推進連絡会議の開催

イ 観光ガイド研修の実施

③ 観光案内所連携強化事業

県内観光案内所の連携による観光情報の共有及び観光案内体制の充実強化を図る。

ア 青森県内観光案内所連絡会議の開催

イ 青森県内観光案内所スタッフ現地研修会の開催

ウ 東北の観光案内所のネットワーク化事業への参画

④ 観光功労者表彰

観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰する。

⑤ 観光振興事業

(公社) 日本観光振興協会が全国的又は重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出する。

⑥ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

イ 東北観光推進機構の事業への参画



(5) 観光資源紹介事業

① 青い森ホール／360° 3Dデジタル映像シアター情報発信事業

本県ならではの自然、歴史、文化等の美しさ、素晴らしさを体感できるデジタル映像を上映し、本県を訪れる外国人旅行者等にエンターテインメント性と臨場感溢れる3D映像と音響を体感いただき、本県の新たな魅力発見と県内周遊の広域化及び再来訪の「きっかけづくり」等、本県の魅力伝達の一層の促進を図る。

② 13階展望台情報発信事業

13階展望台では地上51メートルから、青森市街はもちろん、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、360度の眺望を楽しめる。また、展望台の魅力向上のため設置した、青森港の歴史をステンドグラス風ねぶた絵で表現した作品の積極的なPRや、お客様が旅の思い出の画像を撮れるようフォトプロップスなどを設置し、展望台利用の更なる魅力アップを図る。

③ 主催イベント展開事業

アスパムの館内外において、県や市町村、観光・物産・産業関連団体、文化施設等と連携し、本県の観光、物産、郷土芸能、文化、食、産業などを紹介する各種イベントを展開する。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で、開催できなかったイベントも多かったが、主要イベントについては、必要な感染対策を講じて開催し、顧客ニーズを把握しながら、安心して参加いただける内容で取り組む。

特に、青森ならではの地場産品や地域資源等を活用し、特別な時間や様々な体験、サービスを提供するような「コト消費」を意識したイベントを展開し、来場者の満足度を高め、リピーター確保につなげる取組にする。

④ マチコトバの運営

新しいコト消費の空間として、作家が創作活動を行う「シェアアトリエ」とクラフト作品・雑貨のほか、人気の飲食メニューも出店する「週末マルシェ」を中心に、新たな価値の創造やユニークな青森の体験や商品を提供する取組を行う。特にマチコトバの更なる認知度向上のため、季節・行事・流行などを踏まえたテーマ設定による企画を行い売上向上を図る。

(6) 貸会議室事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出する。

(7) 青森県地場セレクト運営事業

① 地場産品等の販路拡大と商品開発等

県内外からの観光客等に向けてこだわりや物語性のある地場産品を紹介・宣伝するほか、新たな地場産品等に対して消費者の反応や改良点などを確認できるテストマーケティングの場を提供する。

② インターネットを通じた販路整備

コロナ禍の中で、お取り寄せのニーズが高まっていることからインターネットを通じた販路を整備することとし、ショッピングサイトを構築する。

(8) テナント事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その事業活動の場を提供する。

(9) PRホール運営事業

2階市町村ホールでは、観光PR展示パネル等により、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力を多言語でPRするほか、外国人観光客に対し、観光コンシェルジュによる観光案内等を行う。

2 国際交流事業（令和4年10月以降実施）

(1) 国際交流・国際協力等推進事業

① 国際交流ラウンジ管理運営事業

外国人からの相談への対応、その他国際交流に関する各種情報提供、日本語学習教材や参考資料の閲覧・貸出のほか、国際交流ラウンジを中心として県民による多様な国際交流が行われるよう図る。

② 民間国際活動助成事業

地域振興に寄与するものと認められる国際活動を行う県内民間団体に対して助成金を交付し、支援を行う。

③ 国際交流情報発信事業

情報誌の発行及びホームページ等による国際交流に係る情報発信を行う。

④ 青森県ゆかりの海外在住者支援事業

青森県ゆかりの海外在住者や県内在住の家族等のために適時に連絡調整を行う。

⑤ 国際協力推進事業等

独立行政法人国際協力機構や地元団体との連絡調整等を通して同機構の各種事業の県内受入を図る。

(2) 多文化共生推進事業

① 民間圏域拠点連携推進事業

県内圏域ごとの市町村や民間団体が力を合わせ、外国人への日本語指導や各種問合せへの対応などの多文化共生に係る取組を担うことができるよう図る。

ア 民間圏域拠点連携推進事業

イ 日本語教室起点事業

② 外国籍児童等学習支援事業

「外国につながる児童・生徒」に係る要支援事例が発生する場合に備えて、青森県教育委員会や市町村教育委員会との協議を進め、日本語指導サポーターを派遣できる仕組みづくりとその活用を推進する。

③ 日本語学習サポーター等養成事業

外国人等の日本語学習や生活相談等が円滑に行われるよう、学識者や圏域拠点等との連携のもとサポーター養成を行うとともに、サポーターのレベルアップを図る研修会を実施する。

④ 災害・緊急時の滞在外国人支援事業

大学や関係機関との連携を図りつつ、災害・緊急時における滞在外国人への適切な情報発信と支援体制づくりを行う。

(3) 地域国際化推進事業

① 国際人財づくりと人財ネットワーク化事業

県内の大学等と連携し、青森県の国際化に寄与する人財づくりや発掘を行うとともに、ボランティア登録や紹介等を行う人財ネットワークを推進する。

② 姉妹都市交流その他民間海外交流推進事業

青森県の姉妹都市等に係る交流を推進するとともに、経済交流や海外誘客に向けた県内民間団体の取組に対して交流先の紹介、交流ノウハウの提供等の支援を行う。

3 収益事業

(1) イベントスペース

イベントホールは、土日祝日の利用が多いことから、平日や閑散期の貸出しの増加に向け、新たな利用者の開拓を行う。また、1階エントランスホールやリニューアルされた2階「マチコトバ」や13階展望台など、館内のイベント可能なスペースの認知度を向上させ、利用拡大を図る。

(2) 貸会議室

これまで120分までの制限があった会議室フリーWi-Fiの接続サービスを令和4年4月から無制限とすることから、会議室でのオンラインWEB会議の利用率向上に向けた各方面への積極的な営業活動を行う。

(3) テナント事業

アスパムには、土産品店（6店舗）と飲食店（3店舗）がテナントとして入居しており、今後14階に飲食店が新規オープンする予定であるなど安定収益の確保に努めていく。また、館内テナントとの連携組織である「アスパムしんこう会（テナント会）」において、引き続き、アスパム来訪者の購買意欲や満足度向上のため各種取組を積極的に行う。

(4) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの駐車場収入は、一般・月極・大型バスともに収益の大きな柱となっていることから、利便性等について積極的にPRするとともに近隣のホテル・企業等への一般駐車場の各種営業や大型バス駐車場の営業についても県内学校団体や県内外旅行会社等へ積極的にPRを行う。

(5) 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を中心に、主催旅行を軸とした旅行商品化を行い、観光連盟ホームページ等で販売する。

## 第2 令和3年度事業実績

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度の事業実績は、次のとおりである。

### 1 観光振興事業

#### (1) 開発推進事業

##### ① 観光開発推進事業

- ア 観光コンテンツ発掘調査、旅行商品企画の創出
- イ 海外旅行会社・ランド社等への旅行商品流通促進
- ウ インバウンド観光客向けのおもてなし力の向上
- エ 県内観光コンテンツ発掘調査

##### ② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザーを活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行った。

##### ③ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら、以下の取組等を実施した。

- ア あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配布
- イ 教育旅行受入状況調査の実施

##### ④ コンベンション誘致事業

本県へのコンベンション誘致のため、コンベンション開催費助成事業を実施するとともに、関係団体等への誘致活動を積極的に行った。

- ア 商談会参加等
- イ コンベンション開催費助成金

## (2) 情報発信事業

### ① 東北デスティネーションキャンペーン事業

令和3年4月～9月までの6ヶ月間実施された、東北6県デスティネーションキャンペーン(道南地域含む)の本県事務局を担った。

ア 東北デスティネーションキャンペーン青函推進委員会総会の開催

イ 地域連絡会議の開催

ウ オープニングセレモニーの開催

エ シンカリオンZ QRデジタルスタンプラリーin青森・道南の実施

オ 受入意識醸成のための民間鉄道・JR線車両内広告ポスターの制作・掲示

カ 発地での観光プロモーション

キ 県内テレビ3局における東北デスティネーションキャンペーン特別企画紹介番組の作成・放映

ク 首都圏雑誌等での情報発信

ケ 東北デスティネーションキャンペーン特別列車のお出迎え・お見送りの実施

### ② 観光キャンペーン推進事業

ア 観光イベントガイドブックの作成

イ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

ウ 観光イベント等への参画

エ 商品造成対策

### ③ 観光情報ネットワークシステム運営事業

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイトの運営・管理を行った。なお、これまでの「アプティネット」は、「Amazing AOMORI」としてリニューアルした。

### ④ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

### ⑤ 兵庫県との航空路線を利用した相互送客連携

兵庫県の圏域をエリアとする地域連携DMOである「ひょうご観光本部」と連携し、メールマガジンや、特設HP、SNS等を活用した広報活動を行った。

⑥ 宿泊プロモーション事業

本県の誘客促進や今後の本格的な県内需要の回復に資するため、県内の宿泊事業者との連携したプロモーションを実施した。

⑦ 県内宿泊事業者を対象とした経営実態把握調査事業

宿泊事業者の経営状況を的確に把握し、必要に応じた支援策検討の基礎資料とするため、県内宿泊事業者を対象とした経営実態把握調査を実施した。

⑧ 下風呂地域観光復興支援事業

大雨災害で被害を受けた下風呂地域の観光復興と、下北地域全体の観光需要の回復を図るため、青森県おでかけキャンペーンと連動した誘客促進策を実施した。

ア 下風呂温泉郷応援クーポンの発行

イ 県内民放3局による下北地域の情報発信

ウ SNSを活用した下北地域の情報発信

エ 下北地域観光再開セレモニーの開催

⑨ 「PCR検査等無料化事業」に関する説明会及び「抗原定性検査」検査管理者講習会の実施

国が決定した「地域観光事業支援」の支援対象範囲の拡大等に伴い、「ワクチン・検査パッケージ」の活用が利用条件となったことから、「青森県おでかけキャンペーン」参加事業者を対象とした、「PCR検査等無料化事業」に関する説明会及び「抗原定性検査」検査管理者講習会を実施した。

⑩ 青森県宿泊施設ホスピタリティ発信業務

県が実施する「青森あったか総選挙」と連動したプロモーションとして、県内宿泊施設から「おもてなしメッセージ」及び「宿泊施設の魅力」を紹介する記事を募集し、特設サイトに掲載した。

(3) インバウンド対策事業

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、アスパム2階のカウンターを休止し、事務局において観光案内・情報発信等を行った。

ア 県内全般の観光案内

イ チャット機能による多言語観光案内

ウ SNSを活用した多言語による情報発信

エ 県内周遊旅行商品の販売等

② 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

③ 韓国誘客対策強化事業

ア 北東北三県・北海道共同観光オンライン商談会

イ 第8回日韓フォトコンテスト後援

ウ 韓国旅行会社と連携した旅行ニーズ把握業務

④ 台湾人観光客誘致拡大事業

台湾からの観光客の誘客促進を図るため、現地アドバイザーと連携して、台湾旅行会社との商談会への参加や、観光PRイベントへの販促資材等の送り込み等を行った。

(4) その他観光振興事業

① 観光案内所連携強化事業

東北の観光案内所のネットワーク化事業へ参画し、WEB会議等による各観光案内所相互の情報共有を図った。

② マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果を得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取組検討を行った。

③ 「もてなしの心」運動推進事業

観光ガイドの推進に係る取組について情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議をオンラインで開催した。

④ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

イ 東北観光推進機構の事業への参画

⑤ 観光振興事業

(公社)日本観光振興協会が実施する全国広域観光事業に対し提出した。



## 2 青森県観光物産館管理運営事業

### (1) 観光資源紹介事業

#### ① 青い森ホール「360° 3Dシアター」での映像上映

本県の四季の映像と祭りの映像を迫力ある360°スクリーンで上映した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止していた3D映像の上映を令和3年4月から再開した。また、キャッシュレス決済に対応するため、6月から1階の券売機にクレジットカード及び電子マネー機能を追加した。

#### ② 季節ごとの館内装飾の実施

季節と館内イベントに沿った装飾、フォトスポットを設置した。

#### ③ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録の情報発信

7月に世界文化遺産への登録が決定した「北海道・北東北の縄文遺跡群」を、県民はもとより来県したお客様にも周知するため、正面玄関にタペストリー4枚を設置したほか、2階市町村ホール内に縄文遺跡群を構成する史跡を紹介したパネル展示を行った。

#### ④ 13階展望台情報発信事業

13階展望台への誘客と魅力度向上を図るため、フォトプロップスを作成し備え置いたほか、本県の観光マスコットキャラクター「いくべえ」の着ぐるみを配置したフォトスポットを設けるなどお客様の満足度向上に努めた。

#### ⑤ SNSを活用した情報発信

公式ホームページやSNSを活用し、イベント情報等を発信した。特に休館や営業時間の変更等については機動的に発信した。

また、5月よりLINEのオフィシャルアカウントを新規取得し、LINEユーザーに対しても情報発信した。

#### ⑥ アスパムホームページを活用した情報発信

主催イベント特設ページのほか、館内テナント情報についても最新の情報に更新した。

#### ⑦ その他

13階展望台に、青森港開港400年で青森市がかつて善知鳥村と呼ばれていた時代から、大型客船が寄港し青森ねぶた祭りや花火大会が開催される現在までを3枚の作品で表現した竹浪比呂央ねぶた研究所の企画・制作によるスタンドグラス風ねぶた絵を展示した。

## (2) 主催イベント

### ① アスパム開港35周年感謝企画

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、当初予定していたアスパム春祭りは中止としたものの、アスパムが開館35周年を迎えたことから、館内入居店舗による特別感謝企画を実施したほか、テイクアウト形式による県内のご当地グルメの販売や道南クラフトビールの販売などを行った。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」PRコーナーの設置や新小学1年生無料ご招待企画などを実施し、来館促進に努めた。

### ② 2021アスパムde夏休み

県内の夏祭りが中止となり、夏季繁忙期に例年の集客が見込めない中で、夏休み期間の集客を図るため、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録を記念した企画をはじめ、近隣の宿泊施設6か所に当館で使用できるクーポン券を配布したほか、観覧券の増収対策のため、展望台とシアターセット券購入者に館内で利用できる500円の商品券のプレゼントや、13階の展望台で「お化け珈琲」のパッケージ画を展示するなど、来館したお客様の満足度向上を図った。

### ③ アスパム開館35周年誕生祭

2階のマチコトバ開設1周年イベントと併せ、9月に開催予定であった「肉」イベントを同時開催し、アスパム開館35周年の記念イベントとして約70店舗の出店者で会場を盛り上げた。また、館内各店舗の独自企画や、各出店者を巡る工夫として、2店舗の領収書持参者への日替わりのオリジナル缶バッジプレゼント等を実施し、集客に努めた。

### ④ CHRISTMAS MARKET in アスパム2021

冬季の青森ベイエリアの活性化を目的に開催し、今回で4回目の開催となった。開催期間は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、昨年度より6日間短縮し9日間としたものの、新たな取組として、岩崎電気株式会社の協賛を得て、配色豊かなフルカラーLED照明により、テーマを設けたアスパム外観のライトアップを実施した。また、お客様からのメッセージの読み上げと花火の打ち上げを行う「メッセージ花火」を実施するなどの新企画を行った。

### ⑤ アスパムお正月まつり

館内各店舗の初売り・福袋企画や、新年の縁起物「門松」「鏡餅」の設置、お正月の大抽選会などを行い集客に努めた。また、今年の干支にちなんだフォトスポットの設置や館内を巡る企画などを実施し、正月の雰囲気づくりを行った。

⑥ 週末マルシェの開催

コト消費の新たな空間としてリニューアルした2階マチコトバにおいて週末マルシェを開催し、カフェ・スイーツの出店やクラフト作品・雑貨などを販売した。また、一部の出店者とテーマを統一した共同企画の実施や、ワークショップ等のスペース貸出を行い、賑わい創出に努めた。

⑦ 他団体と連携した集客イベント

他団体と連携したイベントを開催し、感染症対策を講じながら集客を図った。

ア 芋フェス

イ うまい森青いもり

(3) 「マチコトバ」運営事業

コト消費の新たな空間であるマチコトバにおいて、シェアアトリエ入居者による制作実演を行ったほか、ワークショップ等のスペース貸出により、賑わい創出に努めた。

(4) 青森県地場セレクトの取組

県内外からの来館者に対し、青森ならではのこだわりやストーリー性のある地場産品を紹介・宣伝し、販路拡大と産品PRを図るとともに、消費者の反応や改良点を生産者にフィードバックし、今後の商品開発に向けた情報提供を行った。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録を記念した特設コーナーの設置やベイエリアの新スポット「あおもり駅前ビーチ」に期間限定で設置された文字オブジェがきっかけで商品化された「あおもりスタンド」の販売を行った。

(5) 貸会議室事業

館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(6) テナント事業

青森県の主要な産業の一つであるエネルギー施策PRの展示・体験施設と雇用促進関連事業であるハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その活動及びサービスの場を提供することにより、本県の産業の振興を図った。

(7) P Rホール運営事業

本県の観光と産業の振興を図るため、アスパム2階において、青森県内の市町村に関する映像紹介と県内温泉地紹介コーナー、世界自然遺産「白神山地」や世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の写真パネルなどの展示を行い、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力をP Rする市町村ホール等を運営した。

3 収益事業

展望台・パノラマ映画などの各種展示コーナー、イベントホールや会議室等の管理・運営など本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などを総合的に紹介・宣伝した。

(1) イベントスペース

イベントホールは土日祝日の利用が多いことから、平日や閑散期の利用拡大に向け、1階エントランスホールやリニューアルされた2階マチコトバ、13階展望台などの館内イベント可能スペースの認知度向上のため、営業活動を行った。

(2) 貸会議室

会議室予約システム登録者2,000ヵ所に対し利用案内を行うとともに、国や県、青森市を訪問し、利用促進のための営業活動を行った。

(3) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの駐車場収入は、一般・バスともに収益の大きな柱になっていることから、利便性等について会議室の営業に合わせ積極的にP Rした。

(4) テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産店と飲食店において、青森県の物産と食の魅力を提供した。

(5) 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を中心に、主催旅行を軸とした旅行商品化を行い、観光連盟内やオンライン上の旅行代理店等で販売した。

### 第3 令和3年度決算報告書

#### 1 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会 計	法人会計	内 部 取 引 去 消	合 計
<b>I 資産の部</b>					
1 流動資産					
現金預金	42,214,645	40,424,860	1,694,349	0	84,333,854
未収会費	190,000	0	0	0	190,000
未収金	37,728,479	1,429,366	0	0	39,157,845
前払金	1,293,683	73,726	104,850	0	1,472,259
立替金	1,130,018	0	0	0	1,130,018
棚卸資産	2,321,666	0	0	0	2,321,666
他会計へ振替	7,454,676	△119,855,866	147,259,173	△34,857,983	0
流動資産合計	92,333,167	△77,927,914	149,058,372	△34,857,983	128,605,642
2 固定資産					
(1)特定資産					
退職給付引当資産	32,853,210	15,434,893	388,450	0	48,676,553
出資金引当資産	20,500,000	0	0	0	20,500,000
活性化債立引当資産	12,075,750	10,585,475	0	0	22,661,225
預り保証金引当資産	0	18,059,178	0	0	18,059,178
7/14繰上償還引当資産	130,930,994	0	0	0	130,930,994
特定資産合計	196,359,954	44,079,546	388,450	0	240,827,950
(2)その他固定資産					
展示物	37,595,172	8,571,941	38,598	0	46,205,711
什器備品	70,647,344	684,656	6,396	0	71,338,396
投資有価証券	0	1,500,000	0	0	1,500,000
保証金	1,958,000	2,400,000	0	0	4,358,000
出資金	0	100,000	0	0	100,000
その他固定資産合計	110,200,516	13,256,597	44,994	0	123,502,107
固定資産合計	306,560,470	57,336,143	433,444	0	364,330,057
資産合計	398,893,637	△20,591,771	149,491,816	△34,857,983	492,935,699
<b>II 負債の部</b>					
1 流動負債					
未払金	67,253,751	1,167,840	55,000	0	68,476,591
前受金	0	2,849,692	0	0	2,849,692
預り金	569,464	0	1,633	0	571,097
仮受金	86,902	29,150	0	0	116,052
賞与引当金	5,076,751	1,872,106	123,143	0	7,072,000
他会計から振替	0	△113,240,445	148,098,428	△34,857,983	0
流動負債合計	72,986,868	△107,321,657	148,278,204	△34,857,983	79,085,432
2 固定負債					
退職給付引当金	40,842,011	7,898,362	△63,820	0	48,676,553
預り保証金	0	18,059,178	0	0	18,059,178
固定負債合計	40,842,011	25,957,540	△63,820	0	66,735,731
負債合計	113,828,879	△81,364,117	148,214,384	△34,857,983	145,821,163
<b>III 正味財産の部</b>					
1 指定正味財産					
地方公共団体補助金等	233,631,668	0	0	0	233,631,668
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	233,631,668 (151,430,994)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	233,631,668 (151,430,994)
2 一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	51,433,090 (12,075,750)	60,772,346 (10,585,475)	1,277,432 (0)	0 (0)	113,482,868 (22,661,225)
正味財産合計	285,064,758	60,772,346	1,277,432	0	347,114,536
負債及び正味財産合計	398,893,637	△20,591,771	149,491,816	△34,857,983	492,935,699

2 正味財産増減計算書  
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

科 目	公益目的事業会計		
	観光振興事業	青森県観光物産館 管理運営事業	共 通
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	410
受取事業収益	40,574,750	0	0
観光振興事業	438,216,857	92,973,690	0
青森県観光物産館	438,216,857	0	0
管理運営事業	0	92,973,690	0
青森県観光物産館イベント	0	0	0
スペース・貸会議室事業	0	0	0
青森県観光物産館テナント賃貸事業	0	0	0
青森県観光物産館駐車場管理運営事業	0	0	0
旅行業運営事業	0	0	0
受取補助金等	11,952,628	47,023,250	0
受取負担金	28,586,428	158,860	7,913,182
雑収益	10,812,786	1,240,672	6,347,054
(2) 経常費用	530,143,449	141,396,472	14,260,646
経常業務費	512,328,993	173,225,536	24,371,876
経常費用	0	0	0
当期経常増減額	512,328,993	173,225,536	24,371,876
当期経常増減額	17,814,456	△31,829,064	△10,111,230
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	0
経常外費用	0	1	0
当期経常外増減額	0	△1	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	17,814,456	△31,829,065	△10,111,230
他会計振替額	0	0	27,946,073
当期一般正味財産増減額	17,814,456	△31,829,065	17,834,843
一般正味財産期首残高	△108,259,371	△339,677,756	495,549,983
一般正味財産期末残高	△90,444,915	△371,506,821	513,384,826
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	0	△3,185,939	0
当期指定正味財産増減額	0	△37,665,031	0
指定正味財産期首残高	0	103,455,699	167,841,000
指定正味財産期末残高	0	65,790,668	167,841,000
III 正味財産期末残高	△90,444,915	△305,716,153	681,225,826

(注) 重要な非損益取引

1 公益目的事業会計	
特定資産取崩収入	
退職給付引当資産取崩収入	9,684,515円
特定資産取得支出	
活性化積立引当資産取得支出	10,000,000円

(単位 円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			
	青森県観光物産館 イベントスペース・ 貸会議室事業	青森県観光物産館 テナント賃貸事業	青森県観光物産館 駐車場管理運 営事業	旅行業運営事業
410	0	0	0	0
40,574,750	0	0	0	0
531,190,547	36,585,361	73,089,762	36,743,960	80,000
438,216,857	0	0	0	0
92,973,690	0	0	0	0
0	36,585,361	0	0	0
0	0	73,089,762	0	0
0	0	0	36,743,960	0
0	0	0	0	80,000
58,975,878	2,895,311	2,345,716	2,139,911	1,382,172
36,658,470	0	0	0	0
18,400,512	422,042	341,929	311,929	201,476
685,800,567	39,902,714	75,777,407	39,195,800	1,663,648
709,926,405	39,970,342	39,249,098	19,960,444	7,522,889
0	0	0	0	0
709,926,405	39,970,342	39,249,098	19,960,444	7,522,889
△24,125,838	△67,628	36,528,309	19,235,356	△5,859,241
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1	0	0	0	0
1	0	0	0	0
△1	0	0	0	0
△24,125,839	△67,628	36,528,309	19,235,356	△5,859,241
27,946,073	0	0	0	0
3,820,234	△67,628	36,528,309	19,235,356	△5,859,241
47,612,856	69,089,169	380,756,025	140,066,352	△19,933,466
51,433,090	69,021,541	417,284,334	159,301,708	△25,792,707
△3,185,939				
△37,665,031	0	0	0	0
271,296,699	0	0	0	0
233,631,668	0	0	0	0
285,064,758	69,021,541	417,284,334	159,301,708	△25,792,707

科 目	収 益 事 業 等 会 計		法 人 会 計
	共 通	小 計	
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取利息	0	0	0
受取配当金	0	0	7,160,250
受取補助金	1,077,170	147,576,253	0
観光振興事業	0	0	0
青森県観光物産館	1,077,170	1,077,170	0
管理運営事業	0	36,585,361	0
青森県観光物産館イベント	0	73,089,762	0
スペース・貸会議室事業	0	36,743,960	0
青森県観光物産館テナント賃貸事業	0	80,000	0
青森県観光物産館駐車場管理運営事業	0	8,763,110	1,501,690
旅行業	0	0	0
受取補助金	0	0	0
受取負担金	149,214	1,426,590	86,249
受取雑収益	1,226,384	157,765,953	8,748,189
(2) 経常費用			
経常業務費	21,728,346	128,431,119	0
経常管理費	0	0	9,065,391
経常費用	21,728,346	128,431,119	9,065,391
当期経常増減額	△20,501,962	29,334,834	△317,202
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈	0	0	0
経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却	0	0	0
経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△20,501,962	29,334,834	△317,202
他会計振替額	△27,946,073	△27,946,073	0
当期一般正味財産増減額	△48,448,035	1,388,761	△317,202
一般正味財産期首残高	△510,594,495	59,383,585	1,594,634
一般正味財産期末残高	△559,042,530	60,772,346	1,277,432
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△559,042,530	60,772,346	1,277,432



(単位 円)

内部取引消去	合 計
0	410
0	47,735,000
0	678,766,800
0	438,216,857
0	94,050,860
0	36,585,361
0	73,089,762
0	36,743,960
0	80,000
0	69,240,678
0	36,658,470
0	19,913,351
0	852,314,709
0	838,357,524
0	9,065,391
0	847,422,915
0	4,891,794
0	0
0	0
0	1
0	1
0	△1
0	4,891,793
0	0
0	4,891,793
0	108,591,075
0	113,482,868
0	△3,185,939
0	△37,665,031
0	271,296,699
0	233,631,668
0	347,114,536

### 3 財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

(単位 円)

貸借対照表科目		金 額
(流動資産)	現金預金	84,333,854
	未収会費	190,000
	未 収 金	39,157,845
	前 払 金	1,472,259
	立 替 金	1,130,018
	棚卸資産	2,321,666
<b>流動資産合計</b>		<b>128,605,642</b>
(固定資産)		
特定資産	退職給付引当資産	48,676,553
	出資金引当預金	20,500,000
	活性化積立資産	22,661,225
	預り保証金引当資産	18,059,178
	アスパム機能維持積立引当資産	130,930,994
		240,827,950
その他固定資産	展 示 物	46,205,711
	什器備品	71,338,396
	投資有価証券	1,500,000
	保 証 金	4,358,000
	出 資 金	100,000
		123,502,107
<b>固定資産合計</b>		<b>364,330,057</b>
<b>資 産 合 計</b>		<b>492,935,699</b>
(流動負債)		
	未 払 金	68,476,591
	前 受 金	2,849,692
	預 り 金	571,097
	仮 受 金	116,052
	賞与引当金	7,072,000
<b>流動負債合計</b>		<b>79,085,432</b>
(固定負債)		
	退職給付引当金	48,676,553
	預り保証金	18,059,178
<b>固定負債合計</b>		<b>66,735,731</b>
<b>負 債 合 計</b>		<b>145,821,163</b>
<b>正 味 財 産</b>		<b>347,114,536</b>

## 4 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有、関連会社以外の有価証券・・・移動平均法に基づく原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
展示物及び什器備品・・・定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法  
リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
退職給付引当資産	53,466,748	4,894,320	9,684,515	48,676,553
出資金引当預金	20,500,000	0	0	20,500,000
活性化積立引当資産	12,661,225	10,000,000	0	22,661,225
預り保証金引当資産	18,059,178	0	0	18,059,178
アスパム機能維持積立引当資産	147,341,000	0	16,410,006	130,930,994
合 計	252,028,151	14,894,320	26,094,521	240,827,950

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特 定 資 産				
退職給付引当資産	48,676,553	( 0 )	( 0 )	(48,676,553)
出資金引当預金	20,500,000	( 20,500,000 )	( 0 )	( 0 )
活性化積立引当資産	22,661,225	( 0 )	(22,661,225)	( 0 )
預り保証金引当資産	18,059,178	( 0 )	( 0 )	(18,059,178)
アスパム機能維持積立引当資産	130,930,994	(130,930,994)	( 0 )	( 0 )
合 計	240,827,950	(151,430,994)	22,661,225	66,735,731

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
展 示 物	621,849,430	575,643,719	46,205,711
什 器 備 品	319,579,721	248,241,325	71,338,396
合 計	941,429,151	823,885,044	117,544,107

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位 円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業補助金	観光庁	0	4,854,313	4,854,313	0	-
訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金	観光庁	0	900,000	900,000	0	-
青森県あおりMICE誘致活動費事業補助金	青森県	0	360,273	360,273	0	-
青森県大規模MICE開催費補助金	青森県	0	300,000	300,000	0	-
青森県観光事業振興費補助金	青森県	0	910,000	910,000	0	-
青森県観光連盟運営費補助金	青森県	0	23,387,000	23,387,000	0	-
青森県観光物産館アスパム内市町村ホール管理運営費補助金	(公財) 青森県市町村振興協会	0	4,050,000	4,050,000	0	-
青森県インバウンド受入拠点体制構築事業費補助金	青森県	103,455,699	0	21,255,025	82,200,674	指定正味財産
青森県観光物産館アスパム機能維持事業費補助金	青森県	147,341,000	0	16,410,006	130,930,994	指定正味財産
合 計		250,796,699	34,761,586	72,426,617	213,131,668	

## 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	21,255,025
青森県観光物産館アスパム機能維持補助金返還額	△3,185,939
青森県観光物産館アスパム機能維持事業費	16,410,006
合 計	34,479,092

## 7 その他

### (1) 退職給付関係

#### ① 採用している退職給付制度の概要

中退共制度と退職給付引当金を併存している。

#### ② 退職給付会計の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

### (2) 特定資産

#### ① 活性化積立引当資産

青森県観光物産館管理運営における活性化策に備え計上している。

## 5 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため省略している。

### 2 引当金の明細

引当金の明細については、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	5,466,000	7,072,000	5,466,000	0	7,072,000
退職給付引当金	53,466,748	4,894,320	9,684,515	0	48,676,553